

第2回岸和田市総合教育会議 大綱策定に係る意見要旨

<中野委員長>

【疑問点】

- 市長の権限に係る大綱に、教育方針の表現をそのまま転用するのは、策定趣旨の違いから無理がある。素案のようなかたちで大綱を策定すると、教育委員会が策定する教育方針について大改編が必要。
- 大綱の計画期間（3年）の間で、教育方針と齟齬が生じる可能性があるので、大綱には各論部分を記載しない方がよい。
- 大綱は、要旨をわかりやすくまとめた、簡潔な仕上がりが良い。

【構成】

- 「子ども達が夢を持ち、夢を育て、その自己実現のために、将来に向かって弛まぬ努力する態度を育成する」といった生き方の方向性を示すことが大切。
- 教育方針の趣旨は活かしつつ、そのまま転用するのではなく、かたちを変えて表現する。
- 大綱は大きなくくりとし、教育方針の各論にできるだけ触れないようにする。

【表現】

- 多くの人に読んでもらいやすいように、できるだけ簡潔に表す。
- 大綱の紙面については、本市の市章、市の花であるバラ、ちきりくん等により、明るくまとめる。

【内容】

- いじめ・体罰に関しては、「心身の健康」のところに必ず記載する。
- 幼児教育 → 就学前教育 と整理

※9/17 中野委員長作成案 : 4頁添付

<川岸委員長職務代理者>

【構成】

- 関連の市長公約を文章の中に活かしていくことも必要。

【表現】

- 大綱は誰が読んでもわかりやすい表現に。
- 項目の順番についても工夫し、わかりやすいものに。
例えば、「基本方針 3. 学校教育に関する方針」の後に「基本方針 4. 幼児教育に関する方針」となっているが、幼児教育を先に。

【内容】

- 幼児教育 → 就学前教育

＜谷口委員＞

【構成】

- 大綱は、そつがないようなものをつくるよりも、岸和田らしさ、岸和田の良い点・弱い点をすべて踏まえた上で、義務教育と就学前教育について、岸和田の進むべき方向性をしっかり示した内容に。

【表現】

- 基本方針1「4)地域社会に貢献する人材の育成」は、主に産業高校のことに触れられているが、産業高校は本市独自のこと。このため「5)幼小中高の連携」の方を先に。
- 教育方針2「4)いじめの防止と解決」は非常に大きな問題であることから、先に記載。

【内容】

- 教育方針3「2)学校給食、食育の充実」について、より深く考察を。とかく栄養学的なところに偏りがちであるが、市長公約でもある地産地消を含め、郷土の料理ということも含めていく方がよい。
- 教育方針4は、幼稚園、保育園、認定こども園も含めたかたちに →「就学前教育」
- 基本方針5「1)安心・安全で快適な学校施設」では、学校の統廃合に関する方針も明記しては。また予算を伴う事項というところでは、安心・安全の中に通学路の歩道の整備についても記載が必要。
- 教育方針6「1)家庭教育支援の充実」について、山滝地区では家庭教育のあり方がしっかりしており、結果も出ているので、市及び教育委員会として、これを充実させていくために取り組んで行くことを、一定具体的に記載する方がよい。

＜野口委員＞

【構成】

- 大綱は、教育方針と整合性がある方が、市民にとってもわかりやすい。

【表現】

- 個々の文章については、ここは並列になって良いのか、述語に対する主語がこれで良いのかといった詳細について気になるところがある。

【内容】

- 今回、新たに幼児教育を方針に入れたことは、大事なこと。
- 基本方針1「5)幼小中高の連携」について、「幼小中高の枠を超えた一貫教育」とは具体的にどのように連携していくのかが分かりにくい。
- 幼児教育については、教育委員会として、どこまで踏み込んで良いのか迷いがある。素案は、幼稚園教育の中でも限られた部分になっているように感じる。幼稚園教育と捉えた時の意見としては、環境を通した教育の充実が記載されておらず、各項目の中身が、子育て支援に傾いている。
- 幼稚園における教育活動の充実のところでは、一番に環境を通した教育の充実のための指導改善があった上で、家庭や地域社会との連携に向けた手立てが検討されることになる。

＜樋口教育長＞

【構成】

- 目指す人物像：前段となる部分で記載
- 子どもも含めて、みんなでいきいき輝くまちづくりをしようという教育方針であったので、これまでの教育方針に基づいた大綱の事務局案を基本として議論を進めていっても良いのではないかな。

【表現】

- やわらかい言葉で、できるだけ簡潔に、学校も含め、市民にわかりやすい表現ということ徹底して進めていく必要がある。
- レイアウト、イラスト、写真等を含めたかたちで、やわらかいものに策定。

【内容】

- 知・徳・体のバランスがとれた教育、また地域や家庭に信頼されるということが、教育方針において「生きる力」と「信頼」というキーワード
- 生涯学習の分野では「人づくり」と「まちづくり」というキーワード

＜信貴市長＞

【構成】

- 本市の長所、持ち味、魅力を引き伸ばしていく。一方で、ここが弱点を踏まえた教育環境の整備を行うことが大切。
- 上記を踏まえつつ、わかりやすく、良い意味で他市からも注目されるような大綱を。

【表現】

- 誰にでもわかりやすいものをつくることが、基本。

【内容】

- 何が大事かというところでは、子どもを一義に考えていくということ。
- 「確かな学力」、学力の向上を願う市民の声に応えることが必要。
- いじめの問題を含め、安心・安全の学習環境づくりも課題。



岸和田市教育大綱

<目 標>

魅せましょう Leading City 岸和田

三世代が支えあって暮らせる街をめざして

大阪一、子供を産み、育てやすい街に

豊かな自然と人との共生を

基本理念

～知・徳・体、調和のとれた人づくり、豊かな人間関係の形成～

基本方針

1. 『生きる力』をはぐくみ、生涯にわたって共に学び合う社会を築く。

(施策の方向性)

- 子どもたちが夢をもち、夢を育て、その自己実現のために、将来に向かってたゆまぬ努力をする態度を育成します。
- 就学前教育の充実と校種関連携を進めます。
- ICTの活用などを図り、情報教育の充実と情報リテラシーの確立に努めます。
- 主体的な学習態度を涵養し、ライフステージに応じて学び続ける学習環境を整えます。
- 学校、家庭、地域のそれぞれの教育力を高めるとともに、これらの連携を深めて、学校の教育活動への支援を図ります。

2. 人権を尊重し、自他の立場を大切にするとともに、心豊かで健康な生活をおくる社会を構築する。

(施策の方向性)

- 基本的生活習慣、規範意識そして食育を子どもの時期に確立し、だれもがいつまでも心身ともに健やかな生活をおくることを推進します。
- 社会的自立を支援し、積極的な社会活動への参画を導きます。
- あらゆる差別、いじめ、体罰、児童虐待、人権侵害などを許さない社会を築きます。
- 安全・安心な教育環境の整備に努めます。
- スポーツの振興発展に取り組み、個人的あるいは関係機関と連携した計画的・継続的な生涯スポーツによって、健康寿命の延伸を図ります。

3. 郷土の自然や伝統・文化を愛し大切にするとともに、市民の主体的学習活動を促進する。

(施策の方向性)

- 地域活動、ボランティア活動、自然体験活動などを推進します。
- 図書館、自然資料館、公民館等公共施設の活動の充実を図り、市民の生き甲斐がはぐくまれる学習活動や環境教育を促進します。
- グローバル化が一層進展する中、国際理解、国際交流、多様な文化の理解を進めます。
- 大学等の高等教育機関と連携し、より高度な文化活動を展開します。
- 情報の収集や発信に努め、市民に開かれた事業に取り組みます。

